

特集「施設で働く職員～寄り添うケアをめざして～」は、休載いたします。次号第4回では、ケアハウスの取組みをご紹介させていただきます。
今号は、新年度になりましたので、新たな気持ちでスタートする職員の気持ちを「インタビュー」してみました。今年にかかる職員の思いをお伝えしたいと思います。

Staff Interview



特別養護老人ホーム 3グループリーダー
特養介護担当 高橋 祥平

グループ一丸となって

Q:平成二十五年度を一言で現すとしたらどんな言葉が思い浮かびますか。『感謝』です。

Q:その「感謝」には、どのような思いが込められていますか。入居者様やご家族様、グループ職員や他部署の職員、いろいろな方に支えられているということに改めて気づき、皆さんに感謝の気持ちでいっぺいです。

また、「ありがとう」と声を掛けていただいたときにはやりがいを感じましたし、「彩光苑で生活することが出来てよかった」と言っていたことが大変うれしかったです。

Q:平成二十六年度がスタートしましたが、どのような年にしたいですか。入居者様が満足する生活を送っていただくためにはどうしたらよいかを常に考え、ご家族様に入居者様の事をいろいろお伺いしながら、ひとつずつ積み上げていきたいと思っています。また、ご家族様ともたくさんのお話を作り、信頼関係や絆を深めていきたいと思っています。

Q:いろいろな思いも、グループ職員の力を借りて実現することと思いますが、グループ職員にどんな期待をしていますか。リーダーの責任として、一人で背負い込んでしまったこともありましたが、今後はグループ職員の力を借りて仕事を任せていきたいと思っています。これからは、要望や要求を伝えるだけでなく、職員からの提案や声を形にすることで、お互いを高め合い、職員とも強い信頼関係を築いていきたいと思っています。

Q:ご家族様に対し、「ありがとう」を伝えたいことなどはありますか。お忙しい中、面会に来苑していただきありがとうございます。気づいた点や要望等を職員へ伝えていただくことで、ご家族様の思いや入居者様の新しい一面を知ることが出来ます。これからもお気づきのことがあれば、ご連絡なく、職員へお申し付け下さい。

Q:1年後、どのような人にならているか、またなりたいか。入居者様及びご家族様から頼られる人になりたいと思います。そして、「3グループリーダー高橋祥平」という名前を知って頂けるよう、また、入居者様及びご家族様と強い信頼関係を築いていけるよう、積極的に声掛けをし、努力していきたいです。



ふれあい

苑庭の満開の桜とともに平成26年度がスタートしました。特養1グループでは、満開の桜の下で、お花見会が行われ入居者様や職員の楽しそうな声が響き渡っていました。
今年度の広報誌「ふれあい」も苑内で行われた催し物や行事、職員から入居者様及びご家族様への思い等を見やすい紙面でご紹介していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

おしらせ

夏祭り 8月24日(日)予定

敬老祭 9月10日(水)予定

クリスマス会 12月24日(木)予定

～ 今年も開催します3大行事 ～

理念

私たちは、地域の人々のために、共に手をつなぎ、一人ひとりを大切に、安心して暮らせるように「福祉・医療・保健」を連携させたサービスを提供します

- 基本方針 -

特別養護老人ホーム 彩光苑 (介護老人福祉施設・短期入所生活介護)

- ・ 家族や地域の人々とともに、高齢者の尊厳を守りつつ寄り添うケアに努めます
- ・ 利用者のみならず、安全で安心して暮らせる環境を整えます

ケアハウス 彩光苑 (軽費老人ホーム・特定施設入居者生活介護)

- ・ 利用者のみならず、いつまでも自立した生活が出来るよう支援します
- ・ 食事や入浴のサービスを通して、健康的な生活をささえます
- ・ 生涯にわたり、安心して生活を営むことができるサービスを提供します

内牧クリニック

- ・ 地域の人々の健康を願い、心のもった医療を提供します
- ・ 誰もが気楽に集えるクリニックとして、健康相談を行います
- ・ 社会福祉法人のクリニックとして、生活困窮をかかえる方々の医療をささえます

彩光苑だより 第42号

ふれあい

発行 社会福祉法人 恩賜 済生会 財団

支部 埼玉県済生会彩光苑 〒344-0051 春日部市内牧3149

発行者 所長 田島 襄

編集 総務人事課

発行日 平成26年4月25日

topics

- ✿ 新年度のごあいさつ - 彩光苑所長 -
- ✿ 豊春中央保育園のお遊戯会
- ✿ 節分「行事実行委員会」
- ✿ ひなまつりbyケアハウス
- ✿ 職員インタビュー
- ✿ おしらせ

CS標語 『 大切な 家族の思い ケアの中に 』

平成26年度スタート

所長 田 寛 裏

平素は、入居者様はじめご家族、ボランティア並びに地域の皆様には、当苑の事業運営にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。平成26年度のスタートに際しご挨拶申し上げます。

さて、今年度の事業計画並びに行動計画（目標）骨子につきまして述べてさせていただきます。事業計画では、介護報酬が据え置の中で、消費税改正に伴う増税（3%）に加え、電気やガス料金の大幅な値上げが続き、費用負担が増大していますので、収支に影響がでることは間違いありません。そのため、従来に増しまして費用削減に取り組んでまいります。

一方、人材確保と育成についても力を入れてまいります。入居者様や地域の高齢者に対し良質な福祉サービスが提供できるよう、介護力を高め信頼関係を築いてまいります。社会貢献活動にも積極的に参加してまいります。また、施設は築18年を迎え、1階の浴室の改修やエアコンの改装などの工事を予定しておりますので、その際は、一定期間ご不便をおかけすることがございますが、ご理解とご協力をお願いします。今年度の行動計画骨子の要旨につきましては、右記のとおりでありますのでご参照ください。

他方では、EPA（経済連携協定）に呼応して、平成24年1月にインドネシアから、介護福祉士をめざし、シティロイサ氏とジュマイダ氏が入社し3年目を迎え、平成27年1月に介護福祉士資格取得の試験を控えています。当施設では、当初より両名に対してプロジェクトチームを編成し指導育成に努めてきました。この1年が集大成となりますが、目的が達成できるようより一層支援して参ります。

内牧クリニックにつきましては、今年度も引き続き、地域医療を中心に、医療相談や各種講演会を開催するなど、医療・福祉・保健を連携したサービスを提供してまいりますので、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。新年度のご挨拶に代えさせていただきます。

平成26年度行動計画骨子 (済生会彩光苑の目標)

1. 顧客（利用者）の視点

- 特別養護老人ホーム彩光苑**
- ・リスクマネジメントの徹底とその推進
 - ・介護力向上及び統一された介護技術の提供（修得）
 - ・徹底した感染予防対策の実行
 - ・顧客（入居者）満足度の推進

- ケアハウス彩光苑**
- ・顧客満足度の推進
 - ・特定入居者生活介護者の生活の質の向上
 - ・レクリエーションの推進

2. 内部プロセスの視点

- ・コンプライアンス体制の強化
- ・なでしこプランの推進
- ・職員間連携の推進

3. 財務の視点

- ・計画的な予算執行と利益の確保
- ・消費税増税対策

4. 学習と成長の視点

- ・安定した人材確保の推進
- ・人材育成と自己成長戦略
- ・職員のスキルアップ支援（資格取得支援制度の確立）
- ・職員研修の効果測定
- ・職員満足度の向上

豊春中央保育園 お遊戯会



2月13日、豊春中央保育園の皆さんによるお遊戯会が開催されました。色とりどりの衣装を身にまとい、男の子は戦隊ヒーローに、女の子はアイドルやお姫様に変身され、明るく元気な姿を見せて下さいました。入居者様から見ると孫やひ孫の世代の子供達の自信に満ちて輝いている姿に、会場には笑顔が溢れ、時には涙を誘い、大変楽しい時間が流れていました。また、来年も彩光苑に笑顔と元気を届けに来てくださることを心待ちにしております。



鬼は外...福は内...

2月3日、特養・ケアハウス共に節分の豆まきを行いました。特養では、食堂等にて実施し、入居者様が集まっていたところに職員扮する赤鬼・青鬼が登場。豆にみたてたカラーボールを「鬼は外」の掛け声と共に投げて頂きました。

また、ケアハウスでは鬼が各居室を回るたびに、入居者様からカラーボールを投げて頂く企画を行いました。入居者の皆様は笑顔で楽しまれていましたが、思った以上にボールに威力があり鬼はとて痛そうでした。今年1年、入居者の皆様がお元気で過ごせるよう職員一同願っております。



3月2日、14時からケアハウス2階食堂で『ひな祭り会』が行われました。いつもはステーション前に飾る雛人形を食堂に移動し、人形を眺めながらひな祭りを楽しみました。歌やゲームも行い、ゲームではみなさん悩みながら他の入居者様と相談し盛り上がりしていました。また、参加された入居者様に、甘酒と桜餅を提供し、みなさん「おいしい」と笑顔で召し上がりしていました。お菓子のつかみ取りもあり、入居者様はとて満足されていました。見守っていた雛人形も入居者様の笑顔を見て微笑んでいたようにもみえました。



ボランティア交流会 (平成25年度後期)

3月17日、平成25年度後期のボランティア交流会が開催されました。日頃のボランティア活動に感謝の意を込めて毎年2回開催しております。今回も所長の挨拶から始まり、ボランティア活動報告、活動表彰、内牧クリニック前川院長による認知症講座、そしてデザートバイキング、最後には代表入居者様より「いつもありがとう」とボランティアの皆様へ感謝の言葉を送らせて頂きました。ボランティアの皆様より「入居者さんのあの楽しそうな姿を見たら、元気をもらえるし、自分自身の生きがいにもつながっている」と笑顔で話して頂きました。

そして、彩光苑でボランティア活動を続けてきた団体、「いきがい大学7期校友会」が9年間、「仲間づくりの会」が46年間の活動の歴史に幕を閉じました。お疲れ様でした。彩光苑の歴史の中で多くのボランティアの方々に支えて頂いていることを改めて感じました。今後とも皆様どうぞよろしくお願い致します。

